

## 2019 中欧研修学生アンケート

集計日：2019年7月1日 回答者数：10人

研修旅行は城西国際大学と城西大学の学生の混成で2019年4月23日～5月8日に実施しました。帰国後に研修全般についてのアンケートを行いました。集計結果より研修内容に関連する項目を抜粋して掲載します。

### 1. 事前講習会の内容について(研修終了後の観点から)

必要かつ十分だった	7名	
予習となるテーマ別の事前講義の開講が望ましい	3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中欧とユダヤ人の関係に関する講義</li> <li>・現地講義の背景となる各国・各地域の包括的な理解を得るための講義</li> <li>・都市情報、観光情報、細分化されたスケジュールの告知</li> </ul>

### 2. 協定大学での講義の理解度／難易度

すべて十分理解できた	5名	
すべて難しかった	1名	・自分の知識が不足していた
難しかった講座があった	4名	難しかった講座 「チェコの政治・経済の変遷」 「ハンガリーのユダヤ人講義」 「ハンガリーと日本の政治・経済関係」

### 3. 見学・フィールドトリップについて

興味を持てたプログラム	スロヴァキアの国境三角地点	7名
	シナゴーク見学	7名
	チェコの近代建築住宅見学	5名
	チェコ・ブルノの市街ツアー	5名
	チェコの自動車博物館	4名
	チェコの民家	4名
趣旨が理解できなかったプログラム	チェコの自動車博物館	3名
	チェコの近代建築住宅見学	1名
	チェコ・ブルノの市街ツアー	1名
	スロヴァキアの国境三角地点	1名
	シナゴーク見学	1名

### 4. 研修プログラムで実施したテーマ、トピックの量について

十分だった	10名	
-------	-----	--

※その他の項目は選択なし。

### 5. 学生間交流について

十分だった	10名	<b>【特に印象に残った交流】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数での自由鼓動、学生だけの食事会、散歩</li> <li>・現地の学生が普段行っている店に案内してくれたこと</li> <li>・現地の学生が得意料理を作ってきてくれたこと</li> <li>・日本語の授業・サークルへの参加</li> <li>・日本語ができる現地の学生が通訳をしてくれたこと</li> </ul>
-------	-----	--

※「まったく機会が無かった」「不十分だった」「過剰だった」の項目は選択なし。

6. 自由行動について

十分だった	9名	
その他	1名	・国ごとに滞在日数が異なったため、滞在日数が少ない国では不十分、多い国では多すぎると感じた。

7. 自由課題のレポートについてのコメント、提案

研修で感じたことを反映できる自由課題でよかったというコメントがあった一方、未知の地域だったため、レポートテーマの設定に苦労したので課題を示して欲しかったというコメントがありました。

8. 今後、このプログラムを単位化することは望ましいと考えますか？

思う	1名	
思わない	2名	<p>&lt;思わない理由&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主性が尊重されるプログラムであって欲しいから</li> <li>・自主的に行動する経験が成長につながると考えるため</li> <li>・自由時間の活用が可能なため</li> </ul>
どちらともいえない。	8名	

10. 研修を終えてのコメント(一部紹介)

- 単位と関係ないため、評価を気にすることなく、有意義に研修を過ごすことが出来ました。JLU・JUの合同であり、様々な学部生がいたため、自分にとって新鮮な交流でした。看護学生として看護についての知識を高めなければと感じたのと同時に、それぞれの視点からの考えを学ぶことで、自身の視野が広がり、他の分野についても興味を持つようになりました。
- 今まで全く興味がなかった地域でしたが、今回の研修で訪問した国が大好きになり、図書館で本を借りて歴史を勉強するようになりました。現地の学生と出会い、仲良くなることで友だちの大切さを感じました。彼らが好きな日本がより良い国になるように、彼らに負けないようにこれからも勉強します。
- とても貴重な体験と、たくさんの出会いの毎日で、ものすごく楽しく、あっという間の二週間でした。好奇心に満ち溢れた先生方や、学生に囲まれて、すごく刺激になり、自分の世界がものすごく広がりました。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。中欧研修に参加したみなさんの感想、提案、コメントを、今後の中欧研修の企画に活かしていきます。